第72回国民体育大会冬季大会
ながの銀嶺国体
氷雪に かがやけ君の 技ちから

1月 28日 Vol. 1

TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

第７２回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会開始式！！

１月２７日（金）に長野市芸術館にて、第７２回国民体育大会冬季大会ながの銀嶺国体スケート・アイスホッケー競技会開始式が行われた。

第７１回大会の男女総合成績が１３位であっただけに、第７２回大会は、何としても「８位入賞」を果たしたいところである。

昨年度の第７１回大会でのスケート・アイスホッケー競技会では、高得点を獲得した競技会であり、今大会での本県選手団の活躍に大いに期待したい。

今回開始式での旗手を務めた、フィギュア競技成年男子の山田耕新選手は、「緊張したけど、貴重な経験をさせてもらった。この経験を競技に活かしていきたい。」と力強くコメントした。

【旗手を務めた山田選手（中央）】

アイスホッケー競技　成年男子京都に惜敗！

１月２７日（金）に、軽井沢市の軽井沢風越公園アイスアリーナにて、アイスホッケー競技会成年男子の試合が行われた。１回戦の京都府戦は、第１ピリオドは、１－１の同点、第２ピリオドで、１－３と突き放され、最終的には２－３で惜しくも敗れたが、最後の１秒まで全力でプレーする姿は印象的であった。今後、更なる飛躍を感じさせる試合であった。

氷上の舞　フィギュアスケート競技　少年男女スタート！

１月２７日（金）は、長野市のビッグハットでフィギュア競技少年男女のショートプログラム（ＳＰ）が行われ、県教育庁からも、西牟田教育次長と友野理事が応援に駆けつけられた。少年女子ＳＰに藤選手（福岡海星女子学院高校）と西坂選手（福岡雙葉高校）が出場した。ＳＰでは、藤選手が１２位、西坂選手が１９位であったが、インターハイでも１０位以内の二人だけに、今大会でも期待したい。少年男子のＳＰには、長池選手（東福岡高校）と古家選手（九州国際大付属中学校）が出場し、古家選手１３位、長池選手１８位であった。男女とも、ＳＰ２４位以内の選手だけが競技できる、次のフリースケーティングの資格を得たので、上位入賞のための巻き返しを大いに期待したい。

【フィギュアスケート選手団と激励に来られた県教育委員会西牟田次長（左２番目）と友野理事（右２番目）】

第72回国民体育大会冬季大会
ながの銀嶺国体
氷雪に かがやけ君の 技ちから
1月 29日 Vol.2

TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

アイスホッケー競技　少年男子　ベスト８進出！

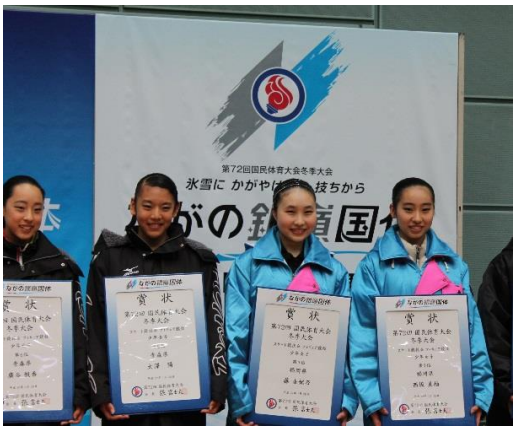
１月２８日（土）は、岡谷市のやまびこスケートの森アイスアリーナにて、アイスホッケー競技少年男子１回戦が行われ、広島県と対戦した。前日に行われた成年男子は、悔しい敗戦であっただけに、この試合はうっぷんを晴らすうえでも何としても勝ちたい試合。別の大会でも対戦して、勝っている相手だが、今回の福岡県チームは、受験や体調不良も重なり、９名の選手で戦う苦しい状況であった。第１ピリオドで息のあったワンツーから１点先制するも、第３ピリオドは１つのミスで同点に追いつかれ、気の抜けない息詰まる試合展開。その後、福岡県が気持ちで２点目をねじ込み、さらに残り３０秒にだめ押し点を加点、３－１で勝利し、２年連続のベスト８進出を果たした。試合後、キャプテンのウィルソン海選手（東福岡高校）は、「今日の試合は自分たちのやってきた練習成果が出せたと思う。次は格上相手（北海道）だけど、自分達のやれることをしっかりやっていきたい。」と力強く語った。

【ベスト８を決めた９名の選手】

フィギュアスケート競技　少年女子７位！　少年男子９位！

１月２８日（土）は、フィギュア競技少年男女ＦＳと成年男子ＳＰの３つの種別の競技が行われた。少年女子ＦＳは、ミスはあったものの笑顔溢れる演技で１つ順位を上げ７位入賞、少年男子ＦＳは、音楽に合わせた楽しさを表現した演技をしたが、残念ながら順位を下げ、入賞にあと一歩届かず９位となった。(SP:ショートプログラム　FS：フリープログラム)

その後、行われた成年男子ＳＰでは、開始式の旗手を務めた山田選手（三井住友銀行）が表現力豊かな演技で２位、中野選手（福岡大学）も観客を魅了する演技で３位となった。二人の演技は、ひときわ大きな声援があり、演技が終わってからも一般の観客の方からもスタンディングオベーションされる素晴らしい演技内容であった。



【７位入賞を決めた少年女子】

スピードスケート競技　少年男女全力滑走！

１月２８日（土）は、スピードスケート競技が、長野オリンピック会場であったエムウェーブ（長野市オリンピック記念アリーナ）にて、少年男女の１日目の予選が行われた。しなやかなフィギュア競技と違って、力強い滑走はとても迫力があった。福岡県選手団も全力滑走をみせたが、惜しくも全員予選敗退となった。

【少年男子】
５００ｍ　田平修大（東福岡高校）
　　大塚貴之（筑紫野中学校
１５００ｍ　大塚貴之（筑紫野中学校）
　　井上幹皓（博多中学校）
【少年女子】
５００ｍ　高橋春香（那珂中学校）

第72回国民体育大会冬季大会
ながの銀嶺国体
氷雪に かがやけ君の 技ちから
1月 30日 Vol.3

TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

スピードスケート競技　少年男子・少年女子の健闘！

１月２９日（日）は、長野市のエムウェーブにて、スピードスケート競技の２日目の競技が行われた。この日は、少年男女の１０００ｍ予選が行われ、少年男子の田平選手（東福岡高校）・井上選手（博多中学校）が出場し、少年女子は、高橋選手（那珂中学校）が出場した。

大きく手を振って、全身を使った力強い滑走は、想像以上に見応えのある競技であり、３人とも必死に食らいついていくが、残念ながら予選敗退となった。試合後、少年男子の田平選手からは、「ショートトラックとは足の運びが全然違った。」とコメントするように普段はショートトラック競技の練習を行っている選手が、スピードスケートに出場し、全力で取り組む姿は、とても感動した。予選の壁は高いが、選手達の取り組む姿は大変立派であった。

【（上黄色）田平選手　（下黄色）高橋選手】

フィギュアスケート競技　成年男子　悔しい悔しい５位入賞！

１月２９日（日）は、フィギュア競技成年女子ＳＰと成年男子ＦＳが、長野市ビックウェーブで行われた。

成年女子の竹野選手（福岡大学）と藤澤選手（法政大学）が出場した。竹野選手が３位、藤澤選手が２０位につけ、２４位以内の入賞となり、二人そろってＦＳの出場権を獲得した。３０日（月）に行われるＦＳでの巻き返しに期待したい。

成年男子ＦＳは、前日の滑走抽選で２３番目に（中野選手　福岡大学）・最後の２４番目に（山田選手　三井住友銀行）となり、３年連続優勝を予感させる滑走順となった。この日も観客を魅了する演技で、期待がかかったが、惜しくも順位を下げる結果となった。約４分３０秒のＦＳにかける思いはどこにも負けてないと思ったが５位という悔しい結果となった。実力のある選手だけに、二人の更なる成長に期待したい。

【成年男子　中野選手】

【成年男子　山田選手】

アイスホッケー競技　少年男子　第１シードと対戦！

１月２９日（日）は、岡谷市のやまびこスケートの森アイスアリーナにて、少年男子の２回戦が行われた。相手は、第１シードの北海道である。試合結果は、０－１９で敗れたが、この試合では、練習だけでは学ぶことのできないスケーティング・スティック裁き・身体の当たりなど多くのことを学ぶ機会になったと思う。９人しかいないが、９人だからこそできることがある。「がんばれ！福岡！！」

第72回国民体育大会冬季大会
ながの銀嶺国体
氷雪に かがやけ君の 技ちから
1月 31日 Vol.4

TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

フィギュア競技　成年女子　５位入賞！

１月３０日（月）は、前日のＳＰで竹野選手（福岡大学　写真右）３位、藤澤選手（法政大学　写真左）２０位で迎えたＦＳ。第１組で滑走した藤澤選手は、ジャンプのミスが響き２３位に順位を落とした。最終組の竹野選手は、少しのミスはあったが、上手くまとめて５位であった。二人のトータルで全体の５位となり、見事入賞を果たした。試合後、竹野選手は、「いいジャンプもたくさんあったけど不用意なミスもあった。次は、それをなくしていきたい。」藤澤選手は、「竹野選手に頼りっきりになってしまった。」とコメントした。諦めかけていた入賞に手が届き、二人で来年こそは、表彰台に登りたいとの決意を表してくれた。来年の更なる笑顔に期待したい。

【５位入賞を果たした成年女子】

大会４日目、ショートトラック競技スタート！

１月３０日（月）は、フィギュア競技の終了後、会場を同じくして、ビッグハットにてショートトラック競技が開始された。１０００m少年男子、危なげなく準決勝まで勝ち上がってきた平井選手（福岡第一高校）は、A決勝（1~4位）、井上選手（沖学園高校）は、B決勝（5~8位）に進出した。井上選手は、勝負所の後半、バランスを崩し転倒し、惜しくも８位。平井選手は、前半は後方に位置着け、後半にライバルを一気に抜き去り２位でゴールした。１０００m少年女子に出場した横山選手（沖学園高校）もA決勝に残り、後半抜き去る展開に持ち込んだが、集団から抜け出せず３位となった。試合後、井上選手は、「調子が悪い中でも脚だけは動かすことができた。」平井選手は、「スローペースの展開の中でも我慢してレースを行うことができた。」横山選手は、「得意でない１０００mでも入賞できたことは、自信となった。得意としている５００mでは、圧倒的な力を発揮し優勝したい。」と力強くコメントしてくれた。

【左から、横山選手、平井選手、井上選手】

【左　表彰台に登る横山選手】

アイスホッケー競技　少年男子　５～８位決定戦へ！

１月３０日（月）は、岡谷市のやまびこスケートの森アイスアリーナにて、少年男子の５～８位決定戦が行われた。相手は、長野県であった。第１ピリオド開始早々、福岡がシュートを放つなど積極的な攻撃を見せた。この試合にかける思いがしっかり伝わってきた。第１ピリオドに１点を取られ、第２ピリオドでも追加点を取られるが、長野県は、思うような試合展開を作れず、激しい接触などの反則行為を行ってしまう。逆に福岡は、何度も優位な状況を作ることができ、そこで反撃したかったが、点を入れきれず、最終的には、０－４で敗れた。続く７~８位決定戦でも神奈川県に１－８で敗れ８位となった。しかし、９人で勝ちを目指し全力で戦う姿は、大変立派であった。９人の勇士に改めてエールを送りたい。

第72回国民体育大会冬季大会
ながの銀嶺国体
氷雪に かがやけ君の 技ちから
2月 1日 Vol.5

TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズレター

スケート・アイスホッケー競技会終了
チーム福岡 大健闘の天皇杯 13 位、皇后杯 10 位

結果

男女総合成績 第 13 位（89 点）
女子総合成績 第 10 位（49 点）

【先頭を快走する横山選手】

【入賞種別、種目】
「アイスホッケー競技」 少年男子 8 位
「スケート競技」
○ フィギュア
成年男子 5 位、成年女子 5 位、少年女子 7 位
○ ショートトラック
成年男子 5000 mR 5 位（川久保、山﨑、張、江田）
成年女子 3000 mR 2 位（古賀、弥中、簑原、辰巳）
少年男子 500 m 8 位（平井瑠哉） 同 1000 m 2 位（平井瑠哉） 8 位（井上瑠太）
少年女子 500 m 1 位（横山世奈） 同 1000 m 3 位（横山世奈）

【1 位の表彰台に立つ 横山選手】

長野県で開催されていた長野銀嶺国体スケート・アイスホッケー競技会は、1 月 31 日に閉幕した。

最終日もチーム福岡の選手達は躍動し、ショートトラック競技の決勝等が行われ、各種別で決勝に進出する奮闘で、少年女子 500m 決勝Ａでは横山世奈選手（沖学園）が見事、有言実行の優勝を果たした。

レースを終えての感想を尋ねたところ、「氷の状態が昨日と違ったので、予選では自分の思った滑りができず、最初は焦りました。決勝では自分を信じて最初から先頭に出て逃げ切ろうと思っていて、それができたから優勝できたと思います。大会記録の更新をねらっていたけど、もう少しスタミナをつけて、もう少し余裕を持って優勝できるようになり世界で活躍できる選手になりたいです。」前日のコメントで優勝宣言をしていた横山選手、見事な有言実行の優勝でした。

【成年女子 3000 mR 準優勝の福岡県選手】